

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 8

令和8年度 6月26日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成
～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら関わり学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「力いっぱい活動する子」

心をついに音楽集会！

本校では6月25日に行われた市の音楽会に向けて、19日に4年生の壮行会を兼ね、音楽集会を実施いたしました。当日は、全校児童に加え、日頃からお世話になっている地域ボランティアの皆様にもご参加いただき、温かい雰囲気の中で開催することができました。

4年生は、5月から合唱・合奏の練習に取り組んできました。授業時間だけでなく、昼休みにも自主的に集まり、真剣に練習を重ねてきました。集会当日は、その成果が十分に発揮され、心をついにした素晴らしい発表を披露しました。

発表後には多くの児童が感想を伝えようと手を挙げ、友達の努力を認める姿が見られたことが、とてもうれしかったです。また、「白山市民の歌」を元気よく歌い、会場全体が明るい雰囲気に包まれました。さらに、最後にはボランティアの方々も一緒に「今月の歌」である「上を向いて歩こう」を歌い、体育館いっぱいに温かな歌声が大きく響き渡りました。

そして迎えた音楽会当日。4年生は少し緊張していた様子も見られましたが、これまでの練習の成果を十分に発揮し、心のこもった合唱・合奏を披露してくれました。発表を終えた後の児童の達成感に満ちた素敵な笑顔が、とても印象的でした。また、多くの保護者の方が応援に足を運んでくださいました。ありがとうございました。

指導主事要請訪問 4年B組国語科研究授業

6月16日（火）に4年B組で国語科「一つの花」の研究授業が行われました。登場人物の気持ちの変化について場面の移り変わりと結び付けて考えることが目的の授業でした。

児童には課題を自分たちで解決したいという思いがあるため、よく考え、目的のある交流活動が見られました。

授業整理会では、金沢教育事務所の服部指導主事様から成果として、つけたい力を児童と共有していることや叙述（教科書の文）から考えることが身についていること等が挙げられました。一方で、登場人物の気持ちの変化を場面の移り変わりと結びつけるための手立てや、場面の状況ではなく登場人物の行動や会話に着目させることが必要であること等の助言をいただきました。

地域の方々への挨拶

本校では、児童が地域の皆様に自分から気持ちの良いあいさつをする姿を目指しています。登下校時に交わされる「おはようございます」等の言葉は、児童の安心感を支えるとともに、人と人とのつながりを育む大切な第一歩です。

見守りボランティアの皆様をはじめ、日々児童を温かく見守ってくださる地域の方々の存在は、児童にとって大きな支えとなっています。学校では、こうした支えを身近に感じられるよう掲示等で紹介するとともに、感謝の気持ちを伝える機会も大切にしております。

また、集団登校班長会では地域でのあいさつの状況を把握するとともに、よりよいあいさつを広げていこうとする意欲の喚起にも取り組んでいます。**今後も、あいさつを基盤とした「顔の見える関係づくり」を大切に、地域とともに児童の健やかな成長を支えていきたいと考えております。**

